コース名	方剤学	講師	劉
実施期間	2023年4月14日～2024年2月16日 金曜日 10：30～12：00	定員 （最大）	15名
目的	複雑な薬理作用を持つ生薬を組み合わせることで、病態を改善し、根本的な治療に導くために生薬の適切な運用と構成割合を学ぶ。代表的な漢方処方の組成原理、処方名、臨床応用ポイントを修得し、弁証における治則と治法を具体化でき、臨床において各方剤が正しく運用できることを目的とする。		

回数	日程	内容
第01回	4/14	総論 方剤と治法
第02回	4/21	方剤の組成・剤型・用法
第03回	4/28	各論 第一章　解表剤→辛温解表剤（桂枝湯・葛根湯・麻黄湯）
第04回	5/12	第一章　解表剤→辛温解表剤（香蘇散・小青竜湯）
第05回	5/19	第一章　解表剤→辛涼解表剤（銀翹散・麻黄杏仁甘草石膏湯）
第06回	5/26	第一章　解表剤→扶正解表剤（敗毒散・荊防敗毒散・参蘇飲）
第07回	6/2	第二章　瀉下剤→寒下剤（大承気湯・大黄甘草湯）
第08回	6/9	第二章　瀉下剤→温下剤 瀉下剤→潤下剤（大黄附子湯・麻子仁丸）
第09回	6/16	第三章　和解剤→和解少陽剤（小柴胡湯・大柴胡湯）
第10回	6/23	第三章　和解剤→調和肝脾剤（芍薬甘草湯・四逆散・柴胡疏肝散・ 当帰芍薬散・逍遙散・加味逍遙散）
第11回	6/30	第三章　和解剤→調和脾胃剤（半夏瀉心湯）
第12回	7/7	第四章　清熱剤→清気分熱剤（白虎湯・桔梗石膏湯）
第13回	7/14	第四章　清熱剤→清営涼血剤（清営湯・桃仁承気湯）
第14回	7/21	第四章　清熱剤→清熱解毒剤（黄連解毒湯・竜胆瀉肝湯・清上防風湯）
第15回	7/28	第四章　清熱剤→清臓腑熱剤（三黄瀉心湯・清心蓮子飲）
第16回	8/4	第四章　清熱剤→清臓腑熱剤（辛夷清肺湯・芍薬湯・乙字湯） 清熱剤→清虚熱剤（黄連阿膠湯）
第17回	8/25	第五章　祛暑剤→清暑益気剤（清暑益気湯）

第 18 回	9/1	第六章　温裏剤→温中散寒剤（理中丸・呉茱萸湯・小建中湯）
第 19 回	10/6	第六章　温裏剤→温中散寒剤（大建中湯・黄耆建中湯・桂枝加芍薬湯）
第 20 回	10/13	第六章　温裏剤→回陽救逆剤（四逆湯・参附湯） 温裏剤→温経散寒剤（当帰四逆湯・当帰四逆加呉茱萸生姜湯）
第 21 回	10/20	第七章　表裏双解剤→解表攻裏剤（防風通聖散・五積散）
第 22 回	10/27	第八章　補益剤→補気剤（四君子湯・六君子湯・補中益気湯） 補益剤→補血剤（四物湯・桃紅四物湯）
第 23 回	11/10	第八章　補益剤→気血双補剤（帰脾湯・十全大補湯） 補益剤→補陰剤（六味地黄丸・知柏地黄丸・杞菊地黄丸）
第 24 回	11/17	第八章　補益剤→気陰双補剤（生脈散・炙甘草湯・参苓白朮散） 補益剤→補陽剤（八味地黄丸・牛車腎気丸）
第 25 回	11/24	第九章　固渋剤→固表止汗剤（玉屏風散） 第十章　安神剤→滋養安神剤（酸棗仁湯・柏子養心湯）
第 26 回	12/1	第十一章　理気剤→行気剤（半夏厚朴湯・栝楼薤白白酒湯） 理気剤→降気剤（蘇子降気湯・小半夏湯）
第 27 回	12/8	第十二章　理血剤→活血祛瘀剤（桃核承気湯・通導散・補陽還五湯・温経湯・桂枝茯苓丸）
第 28 回	12/15	第十三章　治風剤→疏散外風剤（川芎茶調散・清上蠲痛湯・消風散）
第 29 回	12/22	第十三章　治風剤→平熄内風剤（釣藤散・抑肝散・七物降下湯・当帰飲子）
第 30 回	1/5	第十四章　治燥剤→軽宣潤燥剤（杏蘇散） 治燥剤→滋陰潤燥剤（麦門冬湯・五汁飲）
第 31 回	1/12	第十五章　祛湿剤→芳香化湿剤（平胃散・藿香正気散） 祛湿剤→利水滲湿剤（五苓散・猪苓湯・防已黄耆湯）
第 32 回	1/19	第十五章　祛湿剤→温化水湿剤（苓桂朮甘湯・真武湯）
第 33 回	1/26	第十五章　祛湿剤→祛風勝湿剤（独活寄生湯・疏経活血湯・薏苡仁湯）
第 34 回	2/2	第十六章　祛痰剤→燥湿化痰剤（二陳湯・三子養親湯） 祛痰剤→清熱化痰剤（温胆湯・竹筎温胆湯・清肺湯）
第 35 回	2/9	第十六章　祛痰剤→治風化痰剤（半夏白朮天麻湯）
第 36 回	2/16	総復習
教科書 「図解・表解方剤学」￥7,920（予定）		

※当授業は中薬学を修めた方のみ受講可。

※4 分の 3 以上の出席および 2 回の試験で共に 60 点以上で修了証を発行。

（試験日：2023 年 9 月 8 日、2024 年 3 月 1 日）